

どんぐり山行通信 杓子山

第84号

2013年9月21日(土)
晴れ
参加者 19名

しゃくしやま(1598m)



祭日込の3連休
初日、やはり高速
は渋滞していた。
登山口を探しな
がら忍野中の周
辺を右往左往。林
道を登って鳥居
地峠まで足慣ら
し、高座山(1304



m)まで約1時間半、草原の見晴らしの良いコースをバックに富士山を見ながら登る。結構な急坂だが、滑り留めにストックは有効である。ススキを入れた構図の富士山も粋なものである。山頂も富士山が良く見える。小休止後、杓子山まではアップダウンを繰り返しながらの登りとなる。大股では疲れるので、辛くなったら小幅のピッチで歩くことにする。途中、不動湯からの登山道と合流する大権首峠に着く。不動湯からここまでだと1時間あまりだ

が、あいにくバスが入らないので諦めた経緯がある。正午前に杓子頂上に着き、やっと昼飯にありつくことができた。さて、はるかに見える富士山の頂きには笠雲が湧き上がっているのではないか。なかなか珍しい光景で貴重な被写体となる。男性、女性群での記念集合写真を撮り下ることにする。内野バス停まで2時間半の行程、半分は林道という長い下りとなる。30分



の子の神分岐、鹿留山を諦めて立ノ塚峠に

向かう。途中足がつったという会員がぞくぞくと症状を訴え、豊田臨時救護班は大忙し、残り少ないスプレーをかけまくる。1時間でやっと立ノ塚峠に、そこでヤマナシを発見、猿になった気分食べる。うまい！峠から林道を1時間かけて一路バス停に向かう。あと500mを残し道路にへばった所でバス



の回送をお願いします。靴を履き替え、富士湧水の名所「忍野八海」に寄って買物をする。昔は富士山をバックに茅葺き小屋と水車の構図の忍野八海であったが、今は中国人ばかりで当時の面影は微塵もない。帰途は渋滞もなく早めの帰着となった。心地よい疲れが少し残るけど雄大な富士を十分に堪能した山行であった。(牛島記)

